

会 議 録

平成 28 年 9 月 12 日調製

審議会等名	平成 28 年度 第 1 回三条市文化財保護審議会		
公開の別	部分公開		
開催日時	平成 28 年 7 月 28 日（木）午前 10 時～正午		
開催場所	三条市中央公民館 大会議室	傍聴者	2 人
出席者	審議会委員 渡辺副会長、石澤委員、岩田委員、佐藤委員、関委員、高橋委員、田中委員、長谷川委員、平山委員、松井委員、松岡委員、六原委員		
	事務局 渡辺市民部長、金子生涯学習課長、阿部課長補佐、田村係長、勝山主任		
欠席者	荒木会長、岡村委員		
議題	(1) 日本遺産の認定について (2) 平成 27 年度文化財関係事業報告について (3) 平成 28 年度文化財関係事業計画について (4) 『三条市文化遺産リスト』追加候補物件について (5) 文化財調査報告について ア 鍛冶ほか工場歴史的建造物調査報告 イ 長野遺跡出土品詳細調査報告 ウ 歴史的建造物詳細調査報告		
	1 開会のあいさつ		
	2 議題		
	(1) 日本遺産の認定について		
渡辺副会長	事務局より説明願いたい。		
事務局	<p>文化庁は、平成 28 年 4 月 19 日開催の「日本遺産審査委員会」の審議を経て、新たに 19 件を「日本遺産 (Japan Heritage)」に認定し、この度、新潟市・三条市・長岡市・十日町市・津南町で申請した『「なんだ、コレは！」信濃川流域の火焰型土器と雪国の文化』のストーリーが認定された。</p> <p>ストーリーの内容は、1、世界有数の雪国に生まれた火焰型土器、2、火焰型土器のふるさと新潟、3、縄文時代から今に続く雪国文化でストーリーが構成されている。現在認定されている日本遺産の中では、縄文時代を中心としたストーリーは他にはない。</p> <p>このストーリーの構成文化財は 5 市町合わせて 60 件となっていて、このうち三条市に所在している文化財は、吉野屋遺跡出土品、長野遺跡出土品、八木鼻第 1 号岩陰遺跡・第 2 号岩陰遺跡同出土品、吉野屋遺跡、長野遺跡、八木ヶ鼻、上野原遺跡・同出土品、赤松遺跡・同出土品の 8 件となっている。</p> <p>この認定された日本遺産については、日本遺産のブランド力を生かした</p>		

	<p>魅力発信や地域活性化などが期待されており、今後は三条市も加入している信濃川火焰街道連携協議会で、文化庁の「日本遺産魅力発信推進事業」の補助金を受け、事業を展開することになっている。今年度は、東京都内での火焰型土器特別展示会や国際シンポジウムの開催、日本遺産ガイドブックの作成などの情報発信事業などを予定している。</p>
渡辺副会長	<p>今までは文化財を指定・登録するというものはあったが、ストーリーを認定するというものはなかったと思う。火焰型土器は形や造形美などが注目されてきたが、それが生み出されたバックグラウンドには縄文時代や信濃川、雪国文化というのがあるという分かりやすい内容でストーリーがまとめられていて、火焰型土器を理解できるようになり身近に感じられるようになった。</p>
岩田委員	<p>火焰型土器という名称が付いているが、4つの大きな突起が特徴だというのは分ったが、「火焰」という名称が付いた由来と突起の表わす意味はどのようなものか。</p>
事務局	<p>火焰型土器は昭和 10 年に長岡市にある馬高遺跡で近藤篤三郎さんが発見した1個の土器について「火焰土器」という名前で呼ばれたのが最初になる。4つの大きな突起とその間を埋めている鋸歯状突起と呼ばれているギザギザが「焰」のような感じがすることから「火焰土器」と呼んだのではないかと思う。</p> <p>この土器につけられた大きな突起の意味は、資料の写真の笹山遺跡出土の国宝の火焰型土器、馬高遺跡出土の重要文化財の火焰型土器、三条市内の長野遺跡出土の火焰型土器などは、一見皆同じように見えるほどよく似ていて共通性が高い。突起や文様には出自などの縄文人独特の意味があり、それを再認識するような時に使われたと思う。火焰型土器の内面におこげが付いていて、この土器が単なる飾りものではなく、煮炊きに使用していたことが分っている。小林達雄先生は、使いづらい大きな突起が付いているのは古今東西、縄文土器だけで、弥生時代以降の器についても突起はなく、世界の縄文時代と同じくらい古い文化でも土器には突起はない、特に縄文土器の特徴ということで浮世絵とか歌舞伎と並ぶ日本文化そのものだと言われている。</p>
渡辺副会長	<p>火焰にも見えるが、信濃川ということもあり水の流れや渦巻きを表しているのではないかという説もあるようだ。</p> <p>昭和 10 年に馬高遺跡で出土した最初の一つだけが「火焰土器」と言われている。それ以外にはみんな「型」を付けた呼称となっている。</p> <p>馬高遺跡で出土した時はバラバラに出たのか。</p>
松井委員	<p>つぶれた状態で重なって出土したと近藤先生から教えていただいたが、初めは名前がなくがしゃっとつぶれた状況で出土した土器ということで「がしゃっとしたの」という言い方をされていた。</p> <p>中村孝三郎先生が土器を復元したら火焰に似ていることから「火焰」と</p>

	<p>いう名前にしたと聞いている。</p>
高橋委員	<p>日本遺産に認定されクローズアップされていくと思うが、このストーリーの中で三条市のどの構成文化財がメインとなっていくのか。</p> <p>今後は旅行会社などがツアーを企画したりして、来訪者増加につなげていくのか。</p>
事務局	<p>市内外の方々から訪れていただけるようにしていくことになる。まだ初年度なのでツアーなどの企画はないが、昨年度日本遺産に認定されたところではそのようなことが行われており、旅行会社からも既に問合せなどが来ている。今年度は認定初年度であるので、まずはモニターツアーを実施し、意見集約を図り、今後観光につなげられるようにしていきたい。また、ストーリーを体感できるように 60 件の構成文化財を見て回れるようにガイドブックも作成することになっている。</p> <p>三条市では、長岡市、十日町市、津南町と同じように火焰型土器が出土しており、出土遺跡である長野遺跡と吉野屋遺跡や縄文時代からの景観が残る市指定文化財八木ヶ鼻をアピールし、観光部局とも連携していきたいと考えている。</p>
六原委員	<p>火焰型土器は日本遺産に認定されたが地味であり、地域の人たちにそのすばらしさが十分に伝わっていないのではないかと思う。今後、信濃川火焰街道連携協議会でイベントなどをしていくことになると思うが、どのように情報発信し盛上げていくかが大切である。そうしないと東京オリンピック・パラリンピックの聖火台にというのは難しいと思う。</p>
事務局	<p>具体的な内容はこれからであるが、まずは国内外へ情報発信をするため、東京都内で国際シンポジウムや展示会など行うことになっている。また、観光的な見所やコースなどを検討していくことになる。</p> <p>火焰型土器については海外で非常に高く評価されている。イギリス大英博物館の日本文化を紹介するコーナーでは、津南町や長岡市の火焰型土器が常設展示され、来場者に高い人気を博していると聞いている。そのような海外の火焰型土器ファンの方から、その文化の発祥地である信濃川流域に訪れてもらえるような取組も進めることになっていると思っている。</p> <p>2020 年東京オリンピック・パラリンピックはスポーツの祭典であるとともに文化の祭典とも言われている。日本文化を海外に広く発信していく中で、日本文化の源流として縄文文化、その代表として火焰型土器を日本遺産のブランド力を生かした取組を進めることで、火焰型土器やこの地域の文化を多くの人に知っていただくきっかけになればと思っている。</p>
渡辺副会長	<p>質問、意見はないか。</p>
	<p>(質疑、意見なし)</p>
	<p>(2) 平成 27 年度文化財関係事業報告について</p>
渡辺副会長	<p>事務局より説明願いたい。</p>
事務局	<p>平成 27 年度文化財関係事業は、文化財保護審議会を 2 回開催した。</p>

	<p>文化財指定・登録は県指定1件、国登録が2件である。文化財の調査・管理については、建造物、古文書、考古資料、下田郷のいしぶみ、吉ヶ平の民具の調査を実施した。文化財防火デーに国登録有形文化財に登録されている大崎浄水場で防火訓練を実施し、当日の実施状況については文化庁ホームページでも紹介されている。</p> <p>文化財の公開・活用については、下田郷のいしぶみ調査の成果を活用して下田郷のいしぶみめぐりやいしぶみ企画展などを実施し、参加者から大変好評をいただいた。</p> <p>埋蔵文化財の調査では、三条城跡、犬川原北遺跡、石田遺跡の本発掘調査を行い、開発予定に伴う埋蔵文化財の基礎資料を整備するための試掘・確認調査も実施した。また、文化庁の歴史の道百選に選定されている八十里越について、只見町と連携しながら今後適切に保存・活用が図られるように計画の作成を行うため、現地確認調査や関係機関と調整を行った。</p> <p>埋蔵文化財の管理・活用としては、開発に伴う埋蔵文化財の所在照会が年間129件あり、この照会の中から数件の確認調査などを実施し、適切に埋蔵文化財の保護に努めている。埋蔵文化財の調査見学や資料の貸出、写真の提供などが近年多くなっている。遺跡展示会、遺跡体験出前講座、遺跡めぐり、石田遺跡発掘調査現地説明会などを開催した。</p>
渡辺副会長	質問、意見はないか。
平山委員	三条城跡発掘調査の成果をその意義も含めて説明をしていただきたい。
事務局	<p>まちなか交流広場の整備事業に伴い、三条小学校の北側の旧学校給食調理場があった場所の発掘調査を行った。絵図によるとこの場所は、三条城の三ノ丸から外堀に当たるものと想定でき、発掘調査では出土品はわずかであったが、三ノ丸を築城する際の整地した地層と思われるものを確認した。また、その地層の下から室町時代の大きな溝が発見され、珠洲焼や瓷器系陶器の大甕などの陶磁器類が出土した。</p> <p>近世三条城は元和2年に市橋長勝が築城したもので、現在の町の区画などに城の面影がわずかに残っているものの、三条城は築城後数十年で破却されたためその詳細は分っていない。</p> <p>江戸時代の多くの城郭は築城後改変されながら幕末まで使用されているので、江戸時代前期の遺構を残すものが少なく、また、江戸幕府体制確立期の破却という痕跡を残す事例は極めて少ない。このことから江戸時代前期に廃城となった三条城跡の学術的価値は非常に高く、今後、本丸や二ノ丸などの調査機会にあわせ、三条城跡の全容を明らかにしていきたい。</p>
渡辺副会長	何か質問、意見はあるか。
	(質疑、意見なし)
	(3) 平成28年度文化財関係事業計画について
渡辺副会長	事務局より説明願いたい。

事務局	<p>平成 28 年度文化財関係事業計画であるが、文化財保護審議会は 2 回を予定している。文化財の調査では、建造物、古文書、下田郷のいしぶみ、吉ヶ平の民具、鍛冶の工場の歴史的建造物などの調査を実施する。文化財の公開・活用としては、下田郷のいしぶみめぐりや企画展、歴史的建造物探訪ツアーを開催する。</p> <p>埋蔵文化財の調査では、国道 403 号三条北バイパス事業に伴う石田遺跡・梅田遺跡などの発掘調査、開発に伴い破壊される遺跡の記録保存の発掘調査を実施する。また、八十里越が文化庁の歴史の道百選に選定されていることから、只見町、魚沼市と連携しながら現地確認や関係機関と調整を進め、今後適切に保存・活用が図られるように計画の作成を進める。</p> <p>埋蔵文化財の活用では、遺跡展示会、遺跡体験出前講座や遺跡めぐりなどを開催する。その他、信濃川火焰街道連携協議会事業として、今年度の日本遺産認定を受けて日本遺産魅力発信推進事業に取り組むことになっている。</p>
渡辺副会長	質問、意見はないか。
松岡委員	鍛冶の歴史的建造物調査では、鍛冶自体の調査はしないのか。廃業してしまうところが多いが操業しているところもあるので、工場の調査と合わせて道具や仕事の流れを記録するなどするといい資料になるのではないか。
事務局	過去に三条の鍛冶については、県外の大学研究機関などが映像で撮影し記録したり、鍛冶の工程や鍛冶場の形態の調査などを実施している。また、近年三条鍛冶集団等で伝統的工芸品産地指定を受ける際にその製造工程や製造方法なども詳細に記録し、まとめられている。それ以外にも多種多様なものづくりの職人が三条には多くおられる。今後進めていく鍛冶の工場の建物の詳細調査で、製造工程や機械類の配置なども含めて鍛冶などのものづくりの調査や記録等の作成を検討していきたいと考えている。
関委員	下田郷のいしぶみ調査を実施しているが、これまでに調査した石仏で古い記年銘あるものはどのようなものがあるか。
事務局	下田郷のいしぶみ調査はいしぶみをカード化し少しずつ進めていて、全体の資料化までには至っていない。その成果は 2 年ほどかけてまとめていく予定であり、詳細な成果がまとまった時点で報告させていただきたい。
石澤委員	下田郷のいしぶみは調査途中であるが調査に参加しているので、年号について感じたことを説明する。石仏にはほとんど年号は入っていない。庚申塔には年号があり大きなものほど年号が見られ、寛政年間や 1700 年代中頃のものも幾つか見られる。また、新しいものでは明治時代以降のものもある。
渡辺副会長	<p>質問、意見はないか。</p> <p>(質疑、意見なし)</p>

	(4) 『三条市文化遺産リスト』追加候補物件について
渡辺副会長	事務局より説明願いたい。
事務局	市内に所在する指定や登録になっている以外の文化遺産について、保護が必要な物件を文化財保護審議会委員から推薦していただき、現在 152 物件をリストに掲載している。リストに掲載されていない未指定の物件で、保存・活用が必要と認められる市内所在の文化遺産を調査表に記入し提出していただきたい。
渡辺副会長	質問、意見はないか。
	(質疑、意見なし)
	(5) 文化財調査報告について
	ア 鍛冶ほか工場歴史的建造物調査報告
渡辺副会長	事務局より説明願いたい。
事務局	調査を担当していただいた平山委員から説明をお願いしたい。
平山委員	<p>昨年度実施した鍛冶ほか工場歴史的建物調査の概要を報告する。</p> <p>鍛冶道場の長谷川館長から紹介いただいたある程度建物として特色のある 5 棟の調査を行った。</p> <p>宗利製作所は鎌を中心に製作し、昭和 40 年の建築の工場とのことで 50 年は経っているので国登録有形文化財の登録条件は満たしている。いくつかの特色的なものが火炉、鍛冶炉の部分とエアーハンマーが一对で必ず置いてあるということである。建物の天井は熱気がたまるので一番上の所に空気抜きが付いている。</p> <p>増田切出工場は一般的な町屋、民家として作られた昭和 18 年建築の建物を工場として使っている。二階のほとんどが取払ってあり熱気がたまらないように天井が高くしてある。幾つかの工程ごとにスプリングハンマー、鞆、プレス、グラインダーなどが置かれている。町屋や一般的な住宅と軒を連ねてあった高度成長以前の形がここに残っている。</p> <p>田齋ノミ製作所は建物自体は昭和 52 年と新しい工場である。のみなどを製造しており海外にも輸出しているとのことである。特色的なのは、鍛造などを穴を掘った所で作業をされていた。座り作業をするのか、穴のところで行うのかということなので工場ごとで少しずつやり方が違っている。</p> <p>池田鑿製作所は大正時代位の建物を使っている。三代前からやっていて創業から 100 年経っているとのことである。三条の鍛冶の工場は昔はこういうものだったのかとほうふつさせる工場である。田齋鑿製作所は明るい工場であったが、池田鑿製作所は鞆で鉄を熱した時の色味を見たいということであえて工場内を暗くしてそれで色味を見分けていた。動力モーターが古い時代戦前期は特に少ないので 1 台のモーターで各種を動かせるような仕組みもあって、装置自体が珍しくなっている。暗いという点と動力源が非常に特徴的な形式であった。</p> <p>平木鋏製作所は昭和 54 年の建築とやや新しいが、飛んだ鉄粉が錆びて</p>

	<p>しまつてその色が着いて古色蒼然とする感じに見えて、一瞬見ただけでは年代は分かりづらい。ここでは木鋏を専門に作つていて木鋏なので左右の物がうまく型を取りながら製造されていた。</p>
渡辺副会長	<p>質問、意見はないか。</p>
	<p>(質疑、意見なし)</p>
	<p>(5) 文化財調査報告について</p>
渡辺副会長	<p>イ 長野遺跡出土品詳細調査報告 事務局より説明願いたい。</p>
事務局	<p>調査を担当していただいた松井委員から説明をお願いしたい。</p>
松井委員	<p>昨年度に実施した長野遺跡出土品詳細調査の報告を行う。</p> <p>長野遺跡は八木ヶ鼻直下から五十嵐川の約 1 km 上流の低位な河岸段丘上に立地し、縄文時代中期・後期の大集落として知られている。平成元年に約 5,000 m²を発掘調査し、大量の土器や石器が出土した。主な遺構と遺物は、竪穴式住居やフラスコ状ピット、炉跡、火焰型土器や大珠などが出土している。</p> <p>縄文土器の火焰型土器、王冠型土器や東北系、北陸系、北関東系、信州系、地元の型式の中期の土器が出土している。また、縄文時代早期、前期の土器片も出土し、五十嵐川流域では余り多くなく貴重である。</p> <p>石器は縄文時代前期と考えられる尖頭器と石匙、打製石斧、磨製石斧など五十嵐川流域の縄文時代中期の暮らしを語るときに欠かせない石器が出土している。長野遺跡からは黒曜石製の石器が 5 点出土し、他地域との交流を物語るもので、特に栃木県高原山産の黒曜石は「八十里越」を越えた交流を物語るものとして重要である。</p> <p>土製品は、土偶、三角形土製品、耳飾などが出土している。五十嵐川流域の縄文時代中期に特徴的な頭が皿状の土偶が多く出土し、他地域の影響が伺える土偶もある。長さ 8.2cm、重さ 100 g のヒスイの大珠が出土している。これは糸魚川地域などとの交流が伺えるもので地域の拠点的な集落にしか出土しない貴重な出土品である。</p> <p>長野遺跡出土品は平成 28 年度認定の日本遺産の構成文化財となっており、今後積極的な活用が見込まれることから早急に市指定文化財に指定し、適切に保存と活用を行うことが望まれる。</p> <p>また、吉野屋遺跡出土品や赤松遺跡出土岩偶なども日本遺産の構成文化財となっているのでそれらも早急に市指定文化財に指定することが望まれる。</p>
渡辺副会長	<p>質問、意見はないか。</p>
石澤委員	<p>遺跡のある長野地区には著名な御淵上遺跡、中土遺跡があり、それらと地理的に近い位置にあるが関連性はあるか。</p>
松井委員	<p>御淵上遺跡、中土遺跡は旧石器時代で土器がない石器だけの文化であ</p>

	り、大型動物がいた氷河期の終り頃の遺跡で、長野遺跡はそれよりも新しい縄文時代の約5～6千年前の遺跡である。しかし、いずれも八木ヶ鼻というランドマークが良く見え、周辺に幾つかの川が合流している地点にあるので、旧石器時代も縄文時代も食料が得やすい場所であったので遺跡が多く所在している。
渡辺副会長	現在、長野遺跡はどのようなになっているのか。
事務局	現在は埋め戻され畑と水田になっている。現地には遺跡説明板が設置されている。
渡辺副会長	長野遺跡は日本遺産に認定された縄文時代のすばらしい遺跡であり、これだけの資料が出土しているので、三条市指定名勝八木ヶ鼻をバックにした場所に大きな博物館を作った方がよい。八木ヶ鼻もあり景観もすばらしく、縄文時代の風景が臨める価値ある遺跡だと思うので、是非、保存と活用に向けて博物館設置を要望したい。
事務局	文化財保護審委員からの意見として検討させていただきたい。
田中委員	長野遺跡はすばらしい遺跡であるが、小学校で学習する時に、遺跡の情報をデジタル化してもらい授業で見たり、印刷ができるようにしていただけるとよいが、そのような計画はあるか。
事務局	長野遺跡は日本遺産に認定されたことで、今後、信濃川火焰街道協議会で認定された遺跡をホームページで当時のムラの様子などを体感できるようにデジタル技術を活用したソフトを整備していく計画がある。
渡辺副会長	質問、意見はないか。
	(質疑、意見なし)
	(5) 文化財調査報告について ウ 歴史的建造物詳細調査報告
事務局	この議題については、所有者から非公開でお願いしたいとの要望をいただいているので、御配意をお願いしたい。
渡辺副会長	所有者から要望があったので、次の議題については非公開とすることでよいか。
	<「異議なし」の声あり。>
渡辺副会長	異議がないのでこの議題は非公開とする。 (以下、非公開)
渡辺副会長	これで閉会とする。

以上